

# 平成25年度 部誌・OB&OG 会報

— 現役と OB&OG の情報誌（架け橋） —



SHORINJIKEMPO  
少林寺拳法



防衛大学校少林寺拳法部

No. 40

HP アドレス : <http://www.nda.ac.jp/ed/syorinji/>

## 目次

頁

### 部誌

1	部長挨拶	3
2	監督挨拶	4
3	学生寄稿	5
4	平成25年度活動成果	9
5	平成25年度大会成績	10
6	平成26年度部員名簿	15
7	平成26年度年間活動計画	19
8	平成26年度顧問団	22

### 奥平会報

1	会長挨拶	24
2	平成25年度奥平会活動成果	28
3	平成26年度奥平会活動計画	32
4	平成26年度奥平会予算計画	33
5	少林寺拳法部全自衛隊支部について	36
6	奥平会会則	37
7	奥平会員名簿	41

## ご挨拶



部長 高橋 信明

合掌

自衛隊に対する評価が向上し、正当なるものになって来つつあることは嬉しい限りですが、近年におきましては多種多様な外患を抱え、揺さぶられていることに加え、自衛隊を取り巻く環境が量的にも質的にも大きく変貌しようとしています。現代の自衛隊が直面するこのような厳しい状況の下におきましても、防衛大学校少林寺拳法部 OB・OG 諸兄姉におかれましては、少林寺拳法で培った肉体・精神を基礎とし、そして信念とし、多いに活躍していることとお慶び申し上げます。59期政権以下の現役学生諸君は日々元気いっぱいの気持ちで防衛大学校学生生活を送り、日夜勉学に励むと共に少林寺拳法の修行に勤しんでいることと思います。

昨年、平成25年度の各種大会における成績は、今一步の口惜しい成績でありました。5月4日に日本武道館で行われました第50回少林寺拳法関東学生大会では、団体演武の部第3位、男子二段以上の部第3位、茶帯単独演武の部第3位となり、11月17日にやはり日本武道館で行われました第47回少林寺拳法全日本学生大会では、団体演武の部第2位、男子白緑帯の部第2位、そして男子茶帯の部第3位となりました。防衛大学校が最大の目標とし、心血を注いでいます団体演武では惜しくも日本体育大学に勝ちを譲ってしまいました。反省し、分析し、計画し、そして実行することが望まれます。

平成26年6月末現在での部員数は、4学年（59期）が16名、3学年（60期）が17名、2学年（61期）が19名、そして新入部員（62期）が15名の総員67名で、起伏はありますが、近年は概ね安定した数で推移しています。道場の雰囲気は明るく、神田・頼富両先生始め多くの顧問・先輩方の指導の下、59期政権（主将：戸本、副将：井口）を中心としまして、日々厳しい稽古に励んでおります。OB・OG 諸兄姉におかれましては、よりいっそうのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結手

## 監督挨拶



監督 堤 允良(#45)

合掌

この度、防衛大学校少林寺拳法部監督を拝命いたしました堤と申します。思い出深い我が母校で勤務する機会をいただき、更には、学生時代日々鍛錬を重ね、学生生活の全てを捧げた伝統ある防大少林寺拳法部の監督に就くことは身に余る光栄であり、誠心誠意尽力する所存であります。

さて、我が部の状況ですが、25年度は、58期 海上要員 仲矢主将を核心として、関東学生大会、神奈川県大会、全日本学生大会等、各種大会で優秀な成績を収めました。25年度は、防衛大学校として、自衛隊中央観閲式への参加があり、全日本学生大会へ向けた選手の人選及び練成時間に制限を受ける中、早期から目標を確立し、夏季合宿から全日本大会を見据えた練成計画を作成する等、限られた条件の下、最大限の成果を得られるよう、部員一丸となり練成に励みました。これも58期政権を中心とした、全部員のたゆまぬ努力はもちろんのこと、OB・OG皆様のご支援の賜物であると強く感じているところであります。

26年度においては、59期 陸上要員 戸本主将を核心として25年度以上の成績を収めるべく、日々鍛錬に勤しんでいるところであります。また、勧誘活動を強化し、昨年度に引き続き、20名以上の新入部員を獲得することができました。本年については新規に女子部員3名を獲得し、伝統を継承し、新たな高みを目指す者たちを迎えることができ、日々自己確立のため精進を重ねているところであります。

更には本年6月、創立50周年記念祝賀会を滞りなく開催させていただき、ご多忙のなか少林寺拳法グループ総裁、少林寺拳法連盟会長をはじめ、長年本校学生のご指導をいただいております神田先生、頼富先生、並びに諸先生方、交流大学の方々、歴代部長、OB・OGの皆様のご参会を賜りました。この記念すべき行事を盛大に開催できましたのは、日ごろから当部に対し並々ならぬ熱意とご理解を頂戴しております諸先生方並びにOB・OGの皆様方のご指導、ご支援によるものであり、この場をお借りし、深く御礼申し上げます。今後とも防衛大学校少林寺拳法部により一層のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結手

## 目指すところ



合掌

59期 主将 戸本 宗一郎

私たち 59 期が部を運営することも半分以上が過ぎ、残りわずかとなってしまいました。今年度私たちは 59 期政権が掲げる運営方針を「不易流行」としました。今年は創部 50 周年を迎え、記念行事も 6 月に盛大に行うことができました。この記念すべき年にその歴史と伝統の深さを再確認し、更なる伝統の進展と防衛大学校少林寺拳法部の発展を目標としてきました。しかしまだまだやらなければならないことは多く残っており、最終目標である全日本学生大会に向けて日々後輩たちの指導、自己鍛錬に励んでいます。今回 50 周年を迎え、記念行事を通して多くの先生方や OB の方々と接する機会ができ、我が部の歴史や伝統を肌で感じたい機会でした。この行事に携われたことを嬉しく思い、今後の練習、大会への意欲向上の糧にしていきたいと思います。

さて今年度は 11 月 30 日に全日本学生大会が行われます。近年は学生大会も各大学実力が均衡してきており、どの大学が勝ってもおかしくないという状況です。我が防衛大学校は、私たちが 1 学年時の 57 期による団体演武以来、全日本を逃し 2 年連続で 2 位に留まっている状況です。今年を逃し 59 期が抜ければ、部として日本一を体験した者はいなくなってしまうと思います。そこからも今年全日本をとるということに大きな意味があります。私たちが感じた 57 期の団体演武 1 位の感動と、自らの団体演武 2 位の悔しさ。その相反する 2 つの感情を体験することは、なかなかできることではないと思います。日本一を知っているからこそ、日本一をとれなかった悔しさを私たちは体験しました。57 期に憧れ日本一になりたくて、死ぬ気で練習し励まし合いながら目指した日本一。今年日本一をとれなければ、その憧れの気持ちもなくなってしまうかもしれません。60 期は先輩が日本一になった姿を見たことがない世代になってしまいましたが、59 期である私たちがそれを伝え、彼らの背中を押していきます。

私たち 59 期は 50 期代最後の期となり、60 期からは新しい世代なのだと感じる時があります。1 つ期別が違うだけで、考え方も変わり、期別ごとの色も大きく異なっているのかもしれませんが。しかし私たちが防衛大学校少林寺拳法部の仲間であることは説明するまでもないことであり、これは 50 年間で卒業していかれた数多くの OB の方々とも繋がっている、大きな深い絆であると思います。これはこの部で厳しいことを耐え抜いてきた者だけが、得られる特権なのだと考えます。私はそれを伝える役目を背負い、これからも後輩たちに、誇り高き防衛大学校少林寺拳法部員としての自覚を持たせるべく、日々部員と一緒に修練していきます。

最期になりましたが、部員一同日本一まで全力で過ごしていきますので、今後とも応援

して頂ければ幸いです。また政権自身まだまだ未熟なことが多く、様々なこと学んでいきたいと思います。今年はい長い政権となりますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

結手

## 「政権として」



59期 副将 井口 賢

合掌

政権として部の運営に携わるようになってから早くも半年以上が経ちました。今まで見てきた56期、57期、58期政権の姿を思い出し、この部で自分が学んできたことを余さず伝えられるように日々の練習に取り組んでいます。

思えば防衛大学校少林寺拳法部に入部してからいままで自分の未熟さを思い知る機会が多くありました。普段の練習では教えてもらったことがなかなかできず、もどかしい思いを何度もしました。初めて出場した大会ではうまい人の多さに驚き、上達したいと強く思いました。自分よりもうまい同期、自分よりも努力する同期はもっとも身近な目標であり、練習の励みでした。成長を実感する度、喜びを感じるとともに目標との差に気が遠くなる思いでした。これら自分の至らなさに向かい合ったとき、私の練習に力を貸してくれたのがその時々の政権でした。足りない部分を一つ一つ補ってくれる指導は非常にありがたいものでした。

副将として、2年係として練習に臨むにあたって、今までの政権の指導は目標です。下級生の模範、目標でありつつ、その上達をしっかりとサポートできるよう残り半年弱の期間も練習に励んでいきます。

結手



## 負けない志

59期 道場長 中山 真利奈

合掌

防大少林寺拳法部に入部して政権を取るまでを振り返ってみると、時の速さを感じさせられます。56期 57期 58期、それぞれの政権の姿を見て背中を追って、政権にあこがれと羨望を持っていた自分が今政権になり、教えられる立場から教える立場になっている今日、日々下級生からのプレッシャーを感じながら政権運営を行っています。自分の伝えたいことが思うように伝えることのできない苛立ち、自分の技術と知識の無さからくる恥ずかしさ、政権の大変さが身に染みます。しかし、私には 1 つだけ誰にも負けないものがあります。それは、負けん気の根性です。この 3 年間は、防大少林寺で培った負けん気の根性で乗り越えられたと言っても過言ではありません。

もともと高校から習っていた少林寺を、防衛大でも続けてやっていきたいと思って軽い気持ちで入部した私は、入って驚かされることばかりでした。道場でやっていた緩いメニューとは違い、女子の体力でやって行けるのであろうかと思うほどの体力を奪われる練習に加え、目が回るように忙しい学生舎生活。最初は慣れませんでした。だんだん慣れていくと同時に、練習で男子に負けたくない、女子だから出来ないなんて言われたくない気持ちが日に日に増していきました。3 学年時には、その思いのベクトルは試合に向けられ、1 番を取るつもりで練習に励んでいました。当時、まだ予選も通過したことのない私にとって 1 番を取るなど、ほど遠い目標でありました。しかし、それでもあきらめずに練習に取り組めたのは、周りの同期のおかげだと思います。同期もがんばっているから自分も負けられないように頑張ろう、そういう気持ちがあったからこそ懸命に練習に取り組めたのだと思います。

今思えば、自分は勝つために少林寺をやってきたのか疑問に思う事があります。確かに全日本 1 位を取るために私たちは日々厳しい練習をしているかもしれませんが、少林寺拳法は、うぬぼれでない自信と勇気と行動力をもつ、「本当の強さ」を育てます。目的が 1 位を取るだけでなく、もちろん技も教えますが少林寺拳法を修業する本当の意味合いも私は下級生に教えていきたいと思っています。

今の私は技や難易度の高い演武を教えることは難しいですが、本当に自信を持って言えることは、前を向き続ければ努力は必ず結果に出ることです。

結手

## 少林寺拳法との奇縁



60期 岩井 雄馬

合掌

高校入学したての頃、私は何か他人と変わったことがしたかった。そこで部活動紹介を見ていると、『少林寺拳法』という奇妙な名前の部活に目を惹いた私は、その部活に入ることを一発で決心した。そこでは3年間部活をやり通したが、大学では少林寺拳法部はないだろう、事によってはもう一生少林寺拳法をすることは無いかも知れないと、高校卒業したての私は思っていた。しかしまた、こうして防衛大学校で少林寺拳法部に巡り合うことが出来たのは、何かの縁であろう。

またこうして私が防衛大学校で少林寺拳法を続けられているのは、偏に監督、部長、そして絶やすことなくこの部を継ぐんでくださった先輩方の御蔭である。その伝統を継承すべく日々の鍛練に精をだし、団演日本一を掴みとる所存だ。

結手

## 少林寺拳法部の一員として



60期 東原 和毅

合掌

私はほかの方のように志を高く持ち、少林寺拳法部にはいったわけではないというのが本音だ。これまでしていた別のスポーツは怪我等の理由から断念せざるを得ず、迷っていたところを部屋の3学年の方に勧誘されたからというのが入部の理由である。しかし入部してみればランニング、懸垂、拳立てなど私の聞いていた練習とは大きく違うもので、正直何をやめようと思ったかわからない。それにも関わらずこれまで私が続けてこられたのは辛い練習を共に耐えてきた同期、厳しいながらも時には相談に乗ってくれた上級生の方々、いつも支えてくださるOB、顧問、監督の方々など周りの方々の支えがあったからであると心から思う。同期などとは何度もぶつかったり、言い合ったりしたことは何度もあったが彼らに対しては心から感謝し、尊敬している。そのような方々に恩返しするためにも全日本学生大会でこれまでの全ての先輩方の団演を超える団演をし、日本一を取る覚悟を持ち、日々の練習に励む所存である。

結手



## 平成25年度年間活動成果

期 間	行 事	場 所	備 考
5月4日	第50回関東学生大会	日本武道館	団体演武3位 男子二段以上3位 茶帯単独演武3位
5月18日	新入部員歓迎行事	猿島	新入部員28名入部
5月26日	早稲田大学・慶應義塾 大学との合同練習 (早慶防)	防衛大学校	早稲田・慶応・慶応理工・青山 学院・昭和・日本女体大・上智・ 明治・一橋・津田塾計183名
6月2日	神奈川県大会	横浜文化体育館	団演、組演2組最優秀 組演5組優秀(男女×1含む)
6月23日	関東学生連盟 50周年祝賀会	東京プリンス ホテル	部長、奥平会長、藤原1佐、 学生代表参加
8月21～23日	夏合宿	防衛大学校	
8月24日	全国大会	大阪府	
8月25日	世界大会	大阪府	
8月30～9月4日	本山合宿	香川県多度津町	
11月17日	第47回全日本学生大会	日本武道館	団体演武2位 男子白緑帯2位 男子茶帯3位
11月16、17日	第62回開校記念祭 (演武披露)	防衛大学校	
11月21日	政権交代	防衛大学校	
1月8～11日	寒稽古	防衛大学校	
2月1日	奥平杯・OB総会・納会	防衛大学校	
2月2日	新春の集い	セントラルホテル	
3月23～25日	春合宿	防衛大学校	

※ 関東大会、全日本学生大会等の成績は次頁以降を参照。

## 平成25年度大会成績

### 関東学生大会（平成25年5月4日：日本武道館）

種目	成績	出場拳士
団体演武の部	3位	59期 戸本 宗一郎、井口 賢、山田 竜矢、 宮里 進斗、川口 剛史、森 拓海、 結城 翔伍、平江 泰己
男子二段以上の部	3位	60期 橋本 大季、矢花 純一
男子茶帯の部	本選出場	60期 立花 祐太、東原 和毅
単独段外の部	3位	60期 山本 賢一郎
三人掛けの部	本選出場	58期 栗林 正樹、中野 勝貴、古市 英人

### 神奈川県大会（平成25年6月2日：横浜文化体育館）

種目	成績	出場拳士
団体演武の部	1位	59期 平江 泰己、川口 剛史、戸本 宗一郎、 山田 竜矢、宮里 進斗、小椎尾 憲造、 小林 岳海、森 拓海
一般男子三段の部	1位	58期 仲矢 光希 59期 井口 賢
	2位	60期 橋本 大季、矢花 純一
	3位	58期 栗林 正樹、西山 貴幸
一般男子二段の部	2位	57期 宇野 裕貴、宮城 充宏
一般男女有段の部	2位	59期 中山 真利奈、結城 翔伍
一般男子初段の部	2位	59期 浅井 亮、山田 正嗣
一般男子級拳士の部	1位	60期 栗田 樹、立花 祐太
	2位	59期 ブン・ティリナ 60期 金沢 克則

全国大会（平成25年8月24日：大阪市民体育館）

種目	成績	出場拳士
団体演武の部	二次予選六位	59期 平江 泰己、川口 剛史、戸本 宗一郎、 山田 竜矢、宮里 進斗、結城 翔伍、 小林 岳海、森 拓海
一般男子三段の部	一次敗退	58期 仲矢 光希 59期 井口 賢
一般男子初段の部	一次敗退	59期 浅井 亮、山田 正嗣
一般男子級拳士の部	一次敗退	60期 栗田 樹、立花 祐太

全日本学生大会（平成25年11月17日：日本武道館）

種目	成績	出場拳士
団体演武の部	2位	59期 平江 泰己、川口 剛史、戸本 宗一郎、 山田 竜矢、小林 岳海、森 拓海、井口 賢 60期 矢花 純一
男子二段以上の部	本選出場	58期 仲矢 光希、西山 貴幸
男女二段以上の部	本選出場	58期 宮城 充宏 59期 中山 真利奈
単独有段の部	本選出場	60期 岩井 雄馬
単独茶帯の部	本選出場	59期 立花 祐太
男子茶帯の部	3位	59期 ブン・ティリナ 60期 栗田 樹
男子白緑帯の部	2位	61期 加藤 晃輔、松島 一輝

三浦ブロック大会（平成25年12月8日：県立福祉大学）

種目	成績	出場拳士
一般男子初段の部	1位	60期 中嶋 律也 61期 渡辺 大輔
	3位	59期 菊井 健太、小椎尾 憲造
一般男子級拳士の部	1位	61期 武次 将吾、加藤 晃輔
	2位	61期 工藤 将人、松島 一輝



【 神奈川県大会 於：横浜文化体育館 平成25年6月2日 】



【 世界大会 於：大阪市民体育館 平成25年8月25日 】



【 本山合宿 於：少林寺拳法総本部 平成25年9月4日 】



【 第47回全日本学生大会 於：日本武道館 平成26年11月17日 】



【 奥平杯・納会 於：防衛大学校 平成26年2月1日 】

## 平成26年度部員名簿

(平成26年8月1日現在)

期別	役職	氏名	小隊	専攻	要員
59	主将	トモト ソウイチロウ 戸本 宗一郎	241	機械工学	陸
	副将 2年係副	イグチ ケン 井口 賢	333	人間文化	陸
	道場長 2年係補	ナカヤマ マリナ 中山 真利奈	132	情報工学	海
	統制長 3年係正	ユウキ ショウゴ 結城 翔伍	441	地球海洋	陸
	1年係補	ヤマグチ ヒロシ 山口 滉司	113	情報工学	空
	2年係補	ヤマダ マサツグ 山田 正嗣	123	機械システム	海
	3年係副	ヒラエ タイキ 平江 泰己	132	情報工学	陸
	主務 3年係補	カワグチ タケシ 川口 剛史	231	航空宇宙	海
	2年係補	キクイ ケンタ 菊井 健太	233	航空宇宙	海
	安全 1年係副	ヤマダ タツヤ 山田 竜矢	311	通信工学	陸
	会計 3年係補	アサイ リョウ 浅井 亮	331	通信工学	空
	本山 2年係正	モリ タクミ 森 拓海	331	機能材料	陸
	3年係補	ブン ティリナ	331	通信工学	陸
	渉外 1年係補	ミヤザト シント 宮里 進斗	432	公共政策	海
	庶務 3年係補	コジオ ケンゾウ 小椎尾 憲造	433	公共政策	陸
庶務 1年係正	コバヤシ タケミ 小林 岳海	433	地球海洋	陸	

60		ヒガシハラ カズキ 東原 和毅	111	公共政策	陸
		ヤマシタ アイ 山下 亜院	112	公共政策	陸
		ヤマダ カズキ 山田 和輝	142	電気電子	陸
		ヤマモト ケンイチロウ 山本 賢一郎	211	航空宇宙	陸
		タチバナ ユウタ 立花 祐太	241	航空宇宙	空
		ナカヤマ コウイチロウ 中山 孔一朗	241	応用化学	陸
		インザキ ユウヤ 磯崎 雄哉	311	建設環境	海
		イワイ ユウマ 岩井 雄馬	311	応用物理	陸
		ハシモト ヒロキ 橋本 大季	312	建設環境	陸
		フジシロ ツカサ 藤代 司	313	応用物理	空
		ヤバナ ジュンイチ 矢花 純一	322	応用物理	陸
		オカモト ナオヤ 岡本 直也	343	応用物理	陸
		タケダ カズキ 武田 一希	412	人間文化	海
		ナカジマ リツヤ 中嶋 律也	412	人間文化	陸
		マツモト コウヘイ 松本 光平	432	情報工学	陸
	カナザワ ヨシノリ 金沢 克則	432	人間文化	陸	
	スガマ カズキ 須釜 一樹	441	機械システム	陸	
61		オオウチ テツヤ 大内 哲也	112	情報工学	空



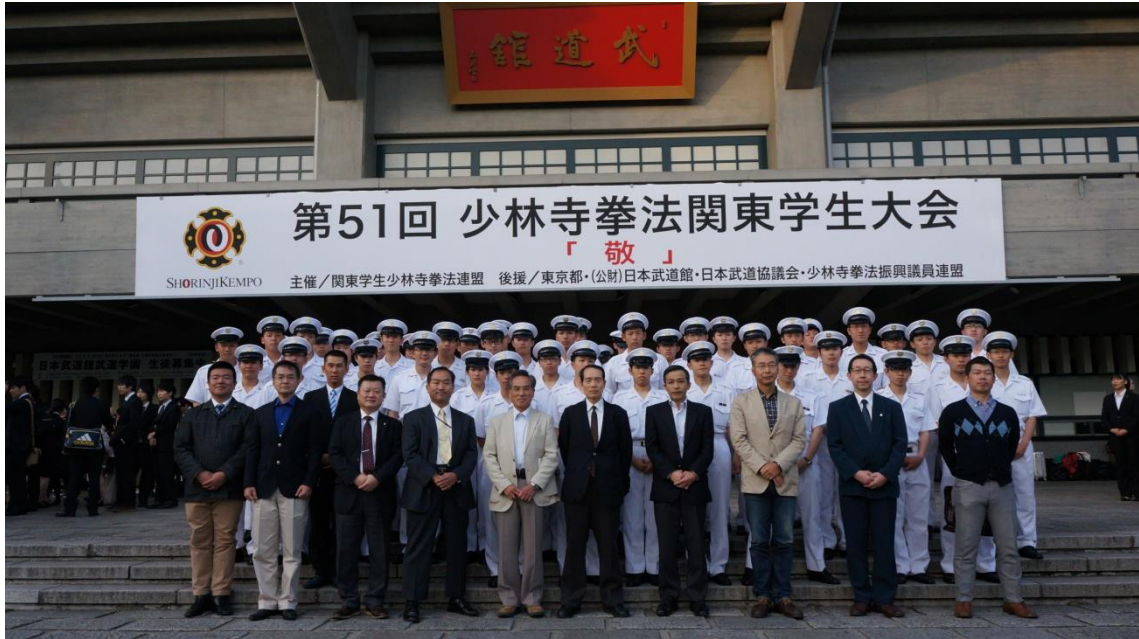
61		スドウ 須藤 琢朗	113	情報工学	陸
		ワタナベ 渡辺 大輔	113	機械工学	陸
		タケツグ 武次 将吾	121	機械工学	空
		アिकाワ 相川 ヒロミ 大海	123	人間文化	海
		モリアイ 森合 リュウノスケ 隆之介	142	情報工学	陸
		ショウヤ 庄谷 シュンスケ 隼介	212	応用化学	陸
		ワタナベ 渡邊 ケンタ 健太	213	応用物理	陸
		シнта 信太 ケイスケ 啓輔	222	機械システム	海
		アマノ 天野 キワミ 極	323	航空宇宙	空
		フジサワ 藤澤 コウジ ロウ 宏司朗	331	公共政策	陸
		タイラ 平 ユキヒロ 行弘	343	公共政策	海
		ダイザ 台座 ヨシタカ 義崇	411	国際関係	陸
		ナルミ 鳴海 コウセイ 洸成	422	電気電子	陸
		カウ 加藤 コウスケ 晃輔	431	電気電子	陸
	ヤマウチ 山内 タクヤ 拓弥	442	国際関係	陸	
	クウ 工藤 マサト 将人	443	電気電子	空	
62		モロオカ 諸岡 拓	112	理工学	共通
		マスマト 増本 ユウタ 雄太	143	理工学	共通

62		オオタ ヨウスケ 大田 陽介	212	人文社会学	共通
		スギタニ ヤスキ 杉谷 康樹	232	理工学	共通
		ヒラノ タクヤ 平野 拓也	232	理工学	共通
		ヤマサキ アツオ 山崎 敦夫	241	理工学	共通
		カミオカ アユム 上岡 歩夢	242	理工学	共通
		イトウ タイセイ 井藤 大聖	243	理工学	共通
		キヨタ ショウタロウ 清田 将太郎	312	理工学	共通
		シバチ テサト 柴田 千里	312	理工学	共通
		ハギワラ ヨウコ 萩原 陽子	312	理工学	共通
		クロダ マサヒロ 黒田 昌宏	333	理工学	共通
		ツチダ ゲンキ 土田 元輝	342	人文社会学	共通
		ミズノ ヒロコ 水野 宗子	342	人文社会学	共通
		ササキ タケン 佐々木 毅	421	理工学	共通

平成26年度年間活動計画（一部実績含む）

期 間	行 事	場 所	備 考
5月4日	第51回関東学生大会	日本武道館	団体演武4位 男子茶帯5位
5月12日	新入部員歓迎行事	ソレイユの丘	新入部員16名入部
5月24日	早稲田大学・慶應義塾 大学との合同練習 (早慶防)	防衛大学校	早稲田・慶応・慶応理工・青山 学院・昭和・日本女体大・上智・ 明治・一橋・津田塾計183名
6月8日	杉本杯	法政大学	
6月24日	防衛大学校少林寺拳法部 創立50周年式典	ホテルグランド ヒル市ヶ谷	
7月6日	神奈川県大会	横浜文化体育館	
8月18～21日	夏合宿	新潟県南魚沼郡	
8月26～31日	本山合宿	香川県多度津町	
11月3日	全国大会	さいたま スーパーアリーナ	
11月8、9日	第63回開校記念祭 (演武披露)	防衛大学校	
11月30日	第48回全日本学生大会	日本武道館	目標：団体演武1位 多くの入賞
12月 (時期未定)	政権交代	防衛大学校	
1月7～10日	寒稽古	防衛大学校	
2月14日	奥平杯・OB総会・納会	防衛大学校	
3月下旬	春合宿	防衛大学校	

\*なお、各月一回を基準に神田・頼富先生の「先生日」（旧：師範日）を予定



【 第 5 1 回 関 東 学 生 大 会 於 : 日 本 武 道 館 平 成 2 6 年 5 月 4 日 】



【 新 入 生 歡 迎 会 於 : ソ レ イ ユ の 丘 平 成 2 6 年 5 月 1 2 日 】



【 早慶防合同練習 於：防衛大学校 平成26年5月24日 】

## 平成26年度顧問団

部長 教授 高橋信明

先生 (旧師範) 神田先生 (正範士7段) 頼富先生 (准範士6段)

監督 3海佐 堤 允良

顧問 教授 加藤 三千夫 藤原 修 (1陸佐) 准教授 濱田 秀 (2陸佐) 有賀 敦

西田 謙 齋藤 文一 助教 和田 篤 事務 伊藤 春代 渡辺 康子

1陸尉 永田 忠義



【平成26年度顧問団の面々】

(敬称等略) 前列左から：渡邊、伊藤、藤原、高橋部長、永田、堤、加藤、濱田元監督

後列左から：宅島、有賀、和田、齋藤、渡邊監督 (枠外：西田・島)

部外顧問 出口1空佐(#24空：元主将・元全自支部長) 佐藤元空将補(#24空：元監督)

坂本元空将補(#25空：元監督)

相良2海佐(#26海：元監督)

米山2陸佐(#27陸：元監督・全自支部長)

吉武1陸佐(#31陸：元主将)

山口2空佐(#32空)

高取2海佐(#37海：元監督)



【出口先輩：目黒】

【佐藤先輩：武専東京センター】

【坂本先輩】

【相良先輩：八戸】



【米山先輩：目黒】

【吉武先輩：市ヶ谷】

【山口先輩：府中】

【高取先輩：横須賀】

※ 部外顧問の方には、月一回の先生日や、防大近隣に来られた時にご指導をいただきます。

# 奥平会報



## 会長挨拶



奥平会会長 佐藤秀幸

合掌

奥平会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平成26年度から奥平会会長を賜りました24期の佐藤です。よろしくお願ひ致します。

昨今、東シナ海、南シナ海をめぐる東アジアでの各国間の対立、また集団的自衛権の是非をめぐる議論等、防衛問題が取り上げられる機会が多く、自衛隊を取り巻く環境も大きく変化しています。こうした状況下にあつて、自衛官の役割は一層重要なものとなつてきており、多くの会員の方が重要なポジションを占めるに至つております。現役の自衛官の方の今後のかじ取りに大きな期待を寄せるとともに、これまで以上にOBとしての支援もしていかなければならないと認識しております。

さて、防衛大学校少林寺拳法部は、創立50周年という大きな節目を迎えております。平成26年6月21日には、多数のご来賓、OBの方々等のご参加を得て、記念祝賀会を行い、これまで積み上げられた歴史を振り返りその実績を称えるとともに、今後の部の更なる発展を期したところです。奥平会としては、本記念事業にはOB各位のご協力を得て中心的に関与しており、何とか成功裏の内に終了できたものと考えております。また、記念事業の準備の段階において、OBの結束の強さを改めて実感したところでもあります。今後につきましても、会員相互間の親睦と現役に対する物心両面にわたる支援を引き続き行っていきたいと考えております。

平成26年度、学生による夏合宿は校内から校外に切り替えて実施されます。また、全日本学生大会では団体演武優勝等を目指しております。OBの方にあつても、是非時間を作つていただき、合宿あるいは日頃の練習等の場に顔を出して学生を励ます等、ご協力をいただければ幸いと存じます。

会員の皆様の今後の奥平会活動に対するご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

結 手



## 平成25年度奥平会活動概要

### 1 現役部員に対する支援

日常における学生に対する指導をおこなうとともに、夏季合宿、関東・全日本学生大会等への支援を実施致しました。細部は「平成25年度奥平会活動成果報告」のとおりです。

特に顧問の少ない中、事故もなく各種行事を乗り切れましたのも、OB・OGの方々のご多忙中にもかかわらず、大会等の応援に駆けつけてくださったお陰と感謝いたしております。26年度につきましても、できる限り大会等の予定を御連絡いたしますので、応援・ご支援のほどよろしく申し上げます。

### 2 平成25年度会計報告

「平成25年度奥平会決算報告書」をご参照ください。

## 平成26年度奥平会活動予定

### 1 平成26年度奥平会活動内容

「平成26年度奥平会活動計画」をご参照ください。

### 2 平成26年度奥平会予算

「平成26年度奥平会予算計画」をご参照ください。

### 3 平成26年度奥平会本部

役 職	期 別	氏 名	連 絡 先
会 長	24 F	佐藤 秀幸	(退職)
副会長 (市ヶ谷等)	17 A	鈴木 陽	(退職)
副会長 兼 総括幹事	27 A	濱田 秀	防大防衛学国防論 8-40-3853
庶務・広報	28 A	藤原 修	防大防衛学国防論 8-40-3809
庶務・広報 (副)	45 A	堤 允良	防大中隊指導教官 8-40-2744
会計監査委員	20 A	山形 克己	(退職)
会 計	49 A	永田 忠義	訓練部武器係長 8-40-2803
庶務・広報	50 A	松岡 晋	防大小隊指導教官 8-40-2611

## 部誌の電子化の状況について

部誌のコスト削減、作成・配布作業の軽減、OB配布率向上のため、昨年度の総会で「部誌の電子化」を実施いたしました。昨年度の106,281円に比し、今年度は63,293円で42,988円のコスト削減となりました。メール化開始前の23年度の199,925円に比し、136,632円のコスト削減となります。

## 期連絡網について

### 1 趣 旨

奥平会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理します。特に近年、退職者が多数おられて、会員の掌握が難しくなりつつある現状を踏まえ、他校友会会員の扱い等も参考にしつつ、掌握に努めます。

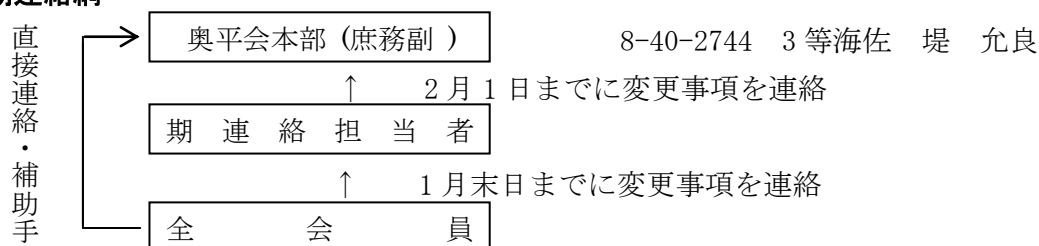
### 2 連絡の要領

- (1) 各期に1名、連絡担当者をおきます。
- (2) 住所・所属等が変更になった場合、各人は毎年1月末日までに同期生の連絡担当者に連絡し、変更事項を告げます（直接防衛大学校庶務に連絡することも可能）。
- (3) 連絡担当者は、年度の変更事項をまとめて毎年2月1日までに奥平会本部（防大庶務（今年度は副））に連絡する。期担当者の変更（交代・転出）についても防大庶務（副）に連絡します。
- (4) その他、会員の慶弔に関する事項については、各人ごと直接又は連絡担当者を通じて奥平会本部に連絡するものとします。この際同窓会本部との連携に留意します。

### 3 連絡担当者の指名

3年を任期とし、次の担当者を期毎指名し、申し送るものとします（再任を妨げるものではありません）。

### 4 期連絡網



5 期連絡担当者 (26.12.1現在)

10	調整中		31A	吉竹 辰明	朝霞	52N	上田 佳裕	鹿屋
11A	勝野 建朗	退職	32A	福重 毅尚	長野	53A	磯畑 良太	山口
12A	調整中	退職	33N	町島 敏幸	徳島	54A	坂口 雄幸	大久保
13A	調整中	退職	34A	松永 康則	市ヶ谷	55A	尾上 真一	習志野
14A	清水 重周	退職	35A	戒田 重雄	市ヶ谷	56A	佐藤 康平	滝川
15A	上杉 和壽	退職	36A	藤岡 史生	大村	57F	盛満 昭彦	静浜
16A	富本 啓一	退職	37N	高取 哲郎	目黒	58N	仲矢 光希	江田島
17A	中尾 吉孝	退職	38A	奇藤 浩	前川原			
18F	笠原 久	退職	39A	中村公多朗	市ヶ谷			
19A	屋久 俊郎	退職	40A	上野 洋介	市ヶ谷			
20A	小林 実	退職	41A	後藤 仁志	習志野			
21A	湖崎 隆	退職	42A	古賀 信之	市ヶ谷			
22A	松村 利宏	退職	43A	廣瀬 繁	市ヶ谷			
23A	日高 政広	退職	44A	渡邊 俊明	仙台			
24F	中館 利光	退職	45A	堤 允良	防大			
25N	内山 哲也	退職	46A	菊池 裕紀	大村			
26F	池畠 暢也	十条	47A	矢野 健一	富士			
27A	濱田 秀	防大	48A	対比地 貴之	習志野			
28A	湯浅 悟郎	市ヶ谷	49N	房野 賢一	横須賀			
29A	甲斐 正人	下志津	50N	鳥居 悠希	大湊			
30A	福田 洋司	伊丹	51A	加藤 僚	青森			

## 平成25年度奥平会活動成果報告

### 1 少林寺拳法部活動支援

- (1) 各種活動に対し、金銭的支援、防大所属会員等による人的支援を実施致しました。
- (2) 夏合宿、関東学生大会、全日本大会には近隣会員からの激励、金銭的な支援を実施致しました。
- (3) 所要に応じ、OBによる技術指導を実施致しました。
- (4) 予算に則り、顧問の必要経費の支援を致しました。

### 2 神奈川県連活動等

- (1) 月例会議に参加（濱田）
- (2) 神奈川県大会（6月2日）への参加（濱田・堤）

### 3 横須賀・三浦ブロック活動参加

- (1) 月例会議参加（月1回；渡邊・堤）
- (2) ブロック合同練習参加（渡邊・堤）
- (3) ブロック大会引率（12月8日）諸準備（12月9日）の実施（渡邊・堤）
- (4) 新年会（2月3日；渡邊）等行事への参加

### 4 学連・自衛隊連盟等行事への参加

関東学生連盟50周年記念行事（6月23日）への参加（3名）

※第39回全自衛隊大会は不参加。

### 5 校内活動

- (1) 少林寺拳法部顧問会議の開催（5月・9月、随時・転出入者があったとき）
- (2) 政権・OB合同会議（1ヶ月に1回）
- (3) ホームページの作成及び運営指導（行事等の機微に応じた広報活動を指導）

## 平成 2 5 年度奥平会年間活動成果

期 間	行 事	場 所	備 考
1月16～19日	寒 稽 古	防衛大学校	
2月2日	奥平杯演武大会 ・納会 OB 総会	防衛大学校	
3月18～21日	春 合 宿	防衛大学校	
4月中	<b>全力勧誘期間</b>		
5月4日	関東学生大会	日本武道館	団体演武 3 位
5月12日	新入部員歓迎行事	猿 島	新入部員 28 名入部
5月26日	早慶防合同練習	防衛大学校	早慶以外、青山学院大学・昭和大学・日本女子体育大学・上智大学・明治大学・一橋大学・津田塾大学も参加
6月2日	神奈川県大会	横浜文化体育館	級拳士組演武：最優秀 団体演武：最優秀 一般男子三段：最優秀
6月23日	関東学生連盟 創立 50 周年記念行事	東京プリンスホテル	一般有段・段外最優秀
8月21～23日	夏合宿	防衛大学校	
8月24日	全国大会	大阪市体育館	
8月25日	世界大会	大阪市体育館	
8月30 ～9月5日	本山合宿	香川県多度津町	3 年生主体に参加 (欠課を伴う校友会特別外出)
11月17日	全日本学生大会	日本武道館	団体演武：2 位
11月 17～18日	第 61 回開校記念祭 (演武披露)	防衛大学校	
11月22日	政権交代	防衛大学校	
12月8日	三浦ブロック大会	保健福祉大学	

## 平成26年度奥平会活動計画

### 1 活動内容

- (1) 防衛大学校少林寺拳法部創立50周年事業準備・実施  
平成26年6月21日の実施へ向け整齊と準備をする。
  - ・記念祝賀会の実施
  - ・記念誌の作成・配布
  - ・DVDの作成・配布
- (2) 部活動支援  
金銭的・人的支援を継続して実施するとともに、昨年度に引き続き少林寺拳法改革新体制移行に伴う指導を適切にする（各人毎の本山との連絡・入金、考試との関連）。
- (3) 一般財団の実施する講習（道院長・支部長講習）に、参加する。
- (4) 横須賀・三浦ブロック活動への参加  
近隣支部との合同練習（2ヶ月に1回）に積極的に参加（本山の目）する。
- (5) 関東学生OB連合会活動参加  
懇親会を通じて交流のできた大学との合同練習機会を拡大する。
- (6) 校内活動  
OBの部活動・練習参加に加え、OB自身の技術向上を図り、積極的に指導を実施する。

### 2 部の活動予定

「平成26年度年間活動計画」参照

### 3 活動に当たっての重点事項

- (1) 新入部員獲得に関して指導をするとともに、金銭支援を行う。（金銭支援、勧誘活動支援、HP作成等）
- (2) 他駐屯地・基地からのOB支援・激励を積極的に得る。  
特に将来的に防大に所在するOB顧問が増加する見込みも少ないことから、部外顧問制度を充実（学生時代の主将・副将等の優技者、任官後も練習を継続している者、全自支部の役員、元監督等、平成25年度には7名に依頼、26年度はさらに#25内山1海佐に依頼予定）して、学生の指導を有益なものにする。さらに、OB顧問以外の意欲のある教官を将来的に有段者に育てる等、顧問団の育成に留意する。
- (3) 防大勤務OBの増加を要望する。
- (4) 期連絡網については、メールの活用を含め、連絡体制の効率化・迅速化を図る。
- (5) 部誌のメール・ウェブ化3年度目として引き続き業務・経費の効率化を図る。

## 4 部務の運営について

### (1) 監督、顧問業務

現在職員は、濱田（#27）、藤原（#28）、堤（#45）、永田（#49）松岡（#50）の5人である。業務は当面堤会員が監督を実施する。

学生の技術指導等は出口1佐（#24）佐藤先輩（#24）、坂本先輩（#25）、内山1佐（#25）、相良2佐（#26）、米山2佐（#27）、吉武1佐（#31）、高取2佐（#37）の部外顧問をはじめ、近隣からの支援をもらう。

### (2) 幹事業務

#### ア 総括業務

濱田会員（副：渡邊会員）

#### イ 庶務業務

- ・三浦ブロッカー渡邊会員（副：堤会員）
- ・神奈川県連－濱田会員
- ・全自衛隊－米山会員
- ・学生OB連合－米山会員

#### ウ 会計業務

永田会員

#### エ 広報業務

堤会員

### (3) 会計監査

山形会員（20期：埼玉県在住）

## 5 その他

顧問への支出（平成24年度施行）について

25年度も、道院長・支部長研修費用等を含め、引き続き実施（学校OB顧問としての要望）。但し平成10～18年度のような状況になった場合再検討する。

## 平成26年度年間奥平会（少林寺拳法部）活動計画

期 間	行 事	場 所	備 考
1月8~11日	寒稽古	防衛大学校	
2月1日	奥平杯演武大会・納会 OB総会	防衛大学校	
3月下旬	春合宿	防衛大学校	
4月中	<b>全力勧誘期間</b>		
5月上旬	第51回関東学生大会	日本武道館	目標：団体1位 多くの本戦出場
5月中旬	新入部員歓迎行事		検討中 (猿島等横須賀市内)
6月	早稲田大学・慶應義塾大学 等との合同練習（早慶防）	防衛大学校	例年ベースで検討
6月下旬	昇段審査		
8月中	夏合宿	防衛大学校	
8月中	本山合宿	香川県多度津町	本山合宿の趨勢 →8月下旬～9月初旬へ ：年度当初に計画・調整ク ラブ特外申請等で対処
11月中	第62回開校記念祭 (演武披露)	防衛大学校	
11月30日	第47回全日本学生大会	日本武道館	目標：団体1位 多くの本戦出場
時期未定	第40回全自衛隊大会	未定	
時期未定	政権交代	防衛大学校	



## 平成26年度奥平会予算計画

### 1 収入について

40期半ばの部員減少期、厳しいOB会費予算の状況を受けて12年度以来、一口30000円の特別会費を設定、お願いにこたえ、OB・OGの皆様の温かいご援助を受けてまいりました。これにより18年度には約2ヵ年分の活動費（約140万円）を上回る額を確保することができるようになり、当該年度をもって、特別会費の徴収を見合わせた予算となったことは33号（平成18年度版）でも申し述べたとおりです。

当面の間、26年度以降も卒業時の一時金による予算によりまかなうことになっております。因みに現在の部員数は、3学年16名、2学年18名、1学年21名となっております。25年度以降も終身OB会費による運営が可能です。今後も奥平会の本来の形式であった終身OB会費（卒業時の学生手当の1/2）による運営を追求して行きます。

### 2 支出について

26年度は、防大少林寺拳法部50周年記念行事等が計画されており、また少林寺拳法一般財団化・改革事業4年目完了期を迎えるなど、大きな事業が予定されております。

### 3 26年度予算計画について

収 入		支 出	
前年度繰越金	¥2,061,303	各種大会支援	¥140,000
小計	¥2,061,303	合宿支援	¥15,000
OB会費	¥648,000	学生活動支援	¥60,000
		技術向上支援	¥200,000
利息	¥0	奥平会運営費	¥200,000
その他	¥0	OB顧問団必要経費	¥100,000
小計	¥0	創立50周年関連経費	¥200,000
総計	¥2,709,303	総計	¥915,000
残高（収入－支出）			¥1,794,303

### 4 来年度以降の見通し

奥平会の運営経費は年間約70万円を必要としております。既にご承知の通り、収入は当該年度の卒業生の終身OB会費（5.4万円/人）によって賄われております。当面は終身OB会費による運営が可能です。

平成25年度奥平会決算報告書（平成25年1月1日～同年12月31日）

1. 収支報告

収入	
前年度繰越金	1,952,031
小計	1,952,031
57期OB会費	648,000
OB特別会費	0
利息	0
小計	648,000
総計	2,600,031

支出	
大会支援金等	
関東学生大会	50,000
全自衛隊大会	0
全日本学生大会	60,000
小計	110,000
学生支援金	
春合宿支援金	10,000
夏合宿支援金	10,000
新入生獲得支援金	60,000
小計	80,000
技術向上支援金(先生代)	200,000
奥平会運営費	
関東OB連合会関連	20,000
三浦ブロック関連	0
部誌発行関連	63,293
OB杯・慶事・雑事等	19,035
顧問支出補助(OB連合・記念行事・交通費)	40,000
部創立50周年準備経費	6,400
小計	148,728
総計	538,728

※注：三浦ブロック必要経費年度内未払い。

年度内差引額 ¥109,272 円

2. 残高報告

¥2,061,303 円

上記内容に異状ありません。  
平成25年度会計係

濱田 秀

3. 会計監査

厳正な監査の結果、会則に基づき適正に運営されている報告します。

会計監査員

山形 貞己

## その他の議題

### 1 状況分析（奥平会を取り巻く組織資源について（「人・物・金」）

現在奥平会員の最初の退職（10期生）が開始されてから約16年、今年度は25期（1佐）が該当期となっています。

20期代は奥平会会員数のピークを迎えた期であり、10年以内にOB数は、減少の一途をたどることとなります。一方で、50期代は10名規模に回復したとはいえ、40期代は4名で政権を担った期もあり、減少の度はさらに増すことが予想されます。このような状況を鑑み、これからの奥平会総会は、組織資源である「ヒト・モノ・カネ」に関して引き続き検討を続けていかなければなりません。

以上のような全般状況の中であるので、平成26年度は40、50期代の小隊指導官、中隊指導官要員が補充の対象となっているが、OB顧問の増加はあまり期待できそうにありません。つまり、今後少人数のOB顧問で防大地区は奥平会事務、及び部外との調整、学生の掌握等に努めなければならない状況にあります。

現在、部員が20名前後の人員を確保できる兆しがあることから、「ヒト・モノ・カネ」のうち、奥平会予算については平成18年度から小康状態に入りました。今後も現役学生と協力して新入部員勧誘に努めなければなりません。

### 2 OB顧問の選定・調整について

総会で、OB顧問の具体的な推挙を含め、現実的な話をしなければならない「時代」に入ったのではないのでしょうか。

### 3 自衛隊全自支部について（紹介）

将来の奥平会との連携の可能性

## 少林寺拳法全自衛隊支部について

自衛隊員の活動を容易にし、自衛隊の中での少林寺拳法の活動を活発化する目的で、全自衛隊連盟の一支部として、全自衛隊支部が設立されております。

設立の趣旨としましては、各拳士が全国どこの自衛隊勤務地においても少林寺拳法の練習ができるように設立されたものであり、自衛隊の少林寺拳法の活発化を図るものです。

現在、陸自の米山多佳志 2 等陸佐（防大27期：元監督）が支部長・事務局事務担当者として、相良達也 1 等海佐（防大26期：元監督）、が会報担当者として、この業務に携わっております。

## 防衛大学校少林寺拳法部奥平会会則

### (名称組織)

**第1条** 本会は、防衛大学校少林寺拳法部奥平会（以下「奥平会」という。）と称し、防衛大学校少林寺拳法部（以下「少林寺拳法部」という。）に卒業時所属していた者及び一時所属していた卒業生で入会を希望する者をもって組織する。

### (目的)

**第2条** 本会は、会員相互の親睦を図ること、少林寺拳法部の発展向上に資することを目的とする。

### (事業)

**第3条** 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員相互の融和団結の促進
  - ア 総会の開催
  - イ 部隊等における支部の設立と活動に対する支援
  - ウ 会員の慶弔に関すること
    - (ア) 結婚 …… 祝電
    - (イ) 死亡 …… 花輪、弔電
- (3) 会員の修業の便を図ること
- (4) 少林寺拳法部への支援
  - ア 合宿
  - イ 関東、全日本、その他の大会
  - ウ OB杯大会
- (5) 学生OB連合会及び他大学OB会との連携・交流
- (6) その他、本会の目的を達成するため会長が必要と認める事項

### (経費)

**第4条** 本会の経費は、会員より徴収する会費及び寄付等の支援金によるものとする。

### (会費)

**第5条** 20期以前の会員は一律5000円、21期以降の会員は卒業時における学生手当の2分の1（1000円未満切捨て）を終身会費として納入するものとする。なお、一旦納入した会費は返還しない。

### (特別会費)

**第6条** 前条に定めるほか、特別の出費を要するときには、総会の承認を得て会員から特別会費を徴収する。

### (本部)

**第7条** 本会の本部は、防衛大学校（少林寺拳法部）内に置く。

### (名誉会員)

**第8条** 会長は、次に掲げる者を総会に諮り名誉会員にすることができる。

- (1) 防衛大学校長
- (2) 少林寺拳法部の部長、師範、顧問及びその経験者
- (3) その他、少林寺拳法部の発展に功績のあった者

### (役員)

**第9条** 本会の役員は、会員のうちから選出する。役員任期は1年とし再任を妨げない。

2 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 幹事 本校在職会員
- (4) 会計監査委員 1名

### (会長)

**第10条** 会長は、本会を代表し、会務を総理するとともに、名誉会員との連絡調整にあたる。

- 2 会長は、会員の中から副会長、幹事、会計監査委員を任命する。
- 3 会長は、5年任期とし、次期会長の任期に当たった当該自衛官会員の先任者等の推薦によって選考するものとし、当該期会長任期満了までに総会の承認を得るものとする。
- 4 会長は、陸海空自衛官会員の持ち回りを原則とするが、当該要員に適当な候補者がいない場合は他の要員から選考する。但し、同じ要員から連続して選考しないものとする。

### (副会長)

**第11条** 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき之を代行する。

- 2 会長は、防大及び市ヶ谷駐屯地等の会員の中で、それぞれ適任と思われる者から副会長を任命する。また、必要によりこれを免ずることができる。
- 3 状況により、会長は副会長を置かないことができる。

### (幹事)

**第12条** 幹事は、会長、副会長を補佐し、会務を処理する。

- 2 会長は、防大に勤務する会員を総務幹事に任命する。

### (会計監査委員)

**第13条** 会計監査委員は、年度末及び臨時に会の会計を監査し、会長及び会員に報告する。

- 2 会計監査委員は、防大の幹事以外の会員の中から会長が任命する。

### (運営)

**第14条** 本会は、総会の決議に基づいて運営する。但し、急を要する事項、若しくは軽易な事項は、会長が役員会に諮って決することができる。

## (総会)

**第15条** 総会は、原則として年1回会長が召集する。但し、必要と認めたときは、臨時に召集することができる。

2 会長は、総会の召集にあたり、副会長に委任することができる。

**3 総会は、会員15名をもって成立する。但し(5名)をこえない範囲で委任状による手続きによることを妨げない(平成20年度総会議決事項)。**

4 総会の議長は、会長がこれに充たるものとする。

5 総会の議事は、出席した会員のうち過半数以上の賛同により、成立するものとする。

## (会務)

**第16条** 本会の会務を円満に処理するため、会長は幹事の中から書記4名を選任する。

2 書記は、総括、庶務、会計及び広報に分掌して処理する。

3 総括担当書記は、会務運営を企画し、会務全般を総括する。

(1) 会長等と密接に連絡を取り、会長の意向を会務全般に反映する。

(2) 年度の活動成果報告を作成して、総会に報告する。

(3) 次年度の活動計画を作成して、総会の承認を得る。

(4) 庶務、会計及び広報担当書記の会務を統制・調整し、会務の円滑な運営を図る。

(5) 状況により、他の担当書記の会務を兼務することができる。

4 庶務担当書記は、主に庶務事項に関して会務を分掌する。

(1) 学生OB連合会、他大学OB会等のOB会組織並びに(財)少林寺拳法連盟、神奈川県少林寺拳法連盟、全自衛隊少林寺拳法連盟等の連盟組織との連携を図るとともに、必要な処置を行う。

(2) 役員名簿を作成する。

5 会計担当書記は、会費を管理し、主に会計事項に関して会務を分掌する。

(1) 会費を徴収する。

(2) 会費納入名簿を作成する。

(3) 会費未納者に対し、会費の納入を促す。

(4) 毎会計年度終了後、特別会費を徴収した場合はその都度、決算報告を作成し総会の承認を得る。

6 広報担当書記は、主に広報事項に関して会務を分掌する。

(1) 少林寺拳法部と連携して、試合日程、合宿等を会員に知らせ、会員の応援を促す等、会員に対する適宜の情報提供を図る。

(2) 少林寺拳法部と連携して、年1回会報を作成し、各担当書記が作成する会の活動計画・成果、決算報告、総会議事録、名簿及び部の状況等を会員に知らせる。

(3) 会員名簿を作成する。

### **(会計)**

**第17条** 本会の会計年度は、1月1日に始まり12月末日をもって終わる。

- 2 本会所管の会費は、確実なる金融機関（防衛庁共済組合を含む）へ預け入れるものとする。

### **(会費の使途)**

**第18条** 本会の会費は、次のことにより使途するものとする。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員の慶弔に関すること
- (3) 少林寺拳法部への支援
- (4) 会員等によるOB会活動等への参加支援
- (5) 会員の大会出場（全国大会レベル）への参加支援
- (6) 会長が、副会長及び幹事等の役員に諮り、奥平会、少林寺拳法部の円滑なる運営上必要と認めた事項

### **(期連絡網)**

**第19条** 本会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理するため、各期に1名の期連絡担当者を置き、会員及び本部との間に期連絡網を整備する。

- 2 期連絡担当者の選出は、各期毎確実に連絡の取れる会員（電子メールアドレス所持者等）を選出するものとし、交代の際には速やかに本部（広報担当書記）に連絡するものとする。
- 3 会員は、住所・所属等に変更があった場合、毎年11月1日までに同期生の期連絡担当者を通じて、変更事項を本部（広報担当書記）に連絡するものとする。
- 4 その他、会員の慶弔に関する事項については、期連絡担当者或いは各会員が直接本部（広報担当書記）に連絡するものとする。

### **(退会)**

**第20条** 会員で退会しようとする者は、会長に申し出るものとする。

### **(規則の改正)**

**第21条** 本会の規則は、総会によって変更することができる。

- 2 前項の場合、出席会員の3分の2以上の賛同を得なければならない。

附則：この会則は、平成21年2月14日から施行する。



# 奥平会員名簿







期別	要員	氏名	所在地	期別	要員	氏名	所在地	期別	要員	氏名	所在地
43	A	古谷 尚久	退職	52	N	肩 直人	大湊	58	F	前田 陽成	奈良
43	A	関 大吾	退職	52	N	渡邊 健太	横須賀	58	F	西山 貴幸	退職
43	A	作田 雄一	御逝去	52	N	上田 祥裕	鹿屋	58	F	古市 英人	奈良
43	N	江畑 泰孝	横須賀	52	N	伊藤 邦晃	舞鶴				
43	N	荒榮 拓也	佐世保	52	F	太田 一宏	浜松				
43	N	森脇 竜二	退職	52	F	荒木 敬	入間				
43	F	春日 英男	目黒	53	A	磯畑 良太	山口				
44	A	澤田 由紀子	退職	53	A	石丸 純	退職				
44	A	増山 哲治	不明	53	A	尻玉 明	珍珠				
44	A	渡邊 俊明	仙台	53	A	宅島 宏幸	十条				
44	A	八尋 幸一	退職	53	A	松本 淳	飯塚				
44	N	西尾 実	大湊	53	A	宮田 憲一郎	大久保				
44	F	伊藤 恒和	那覇	53	A	吉武 直洋	福岡				
44	F	若林 友和	市ヶ谷	53	N	香川 将太	退職				
45	A	八木 新	退職	53	N	黒住 悠人	呉				
45	A	澤水 隆一	勝田	53	N	松本 光一	八戸				
45	N	津森 聡	横須賀	53	N	吉満 将太	那覇				
45	N	堤 亮良	防大	53	F	大河内 太一	防府南				
46	A	阪井 旭	座間	53	F	渡 博司	奈良				
46	A	菊地 裕紀	大村	53	F	濱田 卓	千歳				
46	A	高木 聡	習志野	53	F	宮川 真一	春日				
46	A	藤田 牧子	明野	53	F	棟尾 英典	浜松				
46	N	伊藤 和典	呉	54	A	坂口 雄幸	大久保				
46	F	山本 剛嗣	松島	54	A	荒川 紗恵	久里浜				
47	A	松尾 崇嗣	目黒	54	A	濱野 雅史	青森				
47	A	関家 建一郎	善通寺	54	A	藤崎 脩太郎	明野				
47	A	村重 亮	退職	54	A	村田 瞬一郎	那覇				
47	A	久郷 一雄	退職	54	A	八島 勝	練馬				
47	A	田中 勝茂	退職	54	N	小松 乗継	大湊				
47	A	樋口 智志	目黒	54	N	富田 大助	横須賀				
47	A	本田 一郎	退職	54	N	野添 文登	呉				
47	A	矢野 健一	富士	54	F	伊佐 伸晃	白山				
47	A	半澤 武久	練馬	54	F	瀬戸 陽介	退職				
47	N	谷口 裕昭	退職	55	A	尾上 真一	習志野				
47	F	溝上 雅央	三沢	55	A	川上 政晃	日本原				
48	A	岩田 伸太郎	横浜	55	A	澤谷 竜也	福島				
48	A	小林 猛	東千歳	55	A	矢崎 敬	青森				
48	A	藤原 宏匡	大阪地本	55	A	小林 根孝	岩見沢				
48	A	対比地 貴行	習志野	55	A	平賀 大樹	大村				
48	N	飯沢 直人	群馬	55	A	植野 辰徳	相馬原				
48	N	廣神 敏	大村	55	A	中岡 大輔	北熊本				
49	A	ターミネンタイン	留学生	55	A	芦田 勇次	仙台				
49	A	中山 智晴	久居	55	A	村田 茉莉那	退職				
49	A	西川 尚紀	市ヶ谷	55	A	光宗 勇人	北熊本				
49	A	郡山 伸衛	富士	55	N	藤田 孝仁	海外				
49	N	砂川 広樹	市ヶ谷	55	F	重松 紀	不明				
49	N	房野 賢一	横須賀	56	A	佐藤 康平	滝川				
50	A	永田 忠義	防大	56	A	北村 修	不明				
50	A	砂原 正法	旭川	56	A	内木 脩平	不明				
50	A	松岡 晋	防大	56	A	関川 達弥	不明				
50	A	山本 篤	目達原	56	A	関戸 貴生	不明				
50	N	牛嶋 敬幸	江田島	56	A	西田 浩士	不明				
50	N	鳥居 悠希	大湊	56	A	ドン	研究科				
50	F	稲垣 孝洋	新田原	56	A	トラウ	留学生				
50	F	藤井 貴志	横須賀	56	N	鈴木 大翔	不明				
50	F	樋口 哲士	岐阜	56	N	上野 嘉優	不明				
51	A	加藤 俊	青森	56	F	岸上 吉孝	不明				
51	A	木村 和史	都城	56	F	南里 陽介	不明				
51	A	寺田 浩昌	目黒	56	F	丹羽 和美	不明				
51	A	岡本 剛史	岩見沢	57	A	重松 翼	不明				
51	A	窪田 雅之	大宮	57	A	有村 匡城	不明				
51	A	熊田 智徳	郡山	57	A	後藤 和正	不明				
51	A	鬼塚 勇	真駒内	57	A	朝鶴 悠太	不明				
51	A	稲葉 雄一	習志野	57	A	竹村 滋人	不明				
51	A	坂東 正崇	南恵庭	57	A	田中 翔太	久留米				
51	A	林 康平	退職	57	N	藤本 宗一郎	不明				
51	N	石川 貴之	船越	57	N	遠藤 真琴	不明				
51	N	阿部 哲也	鹿屋	57	F	盛満 昭彦	不明				
51	N	島原 佑太	館山	57	F	笠 慎之介	不明				
51	N	山内 祐介	市ヶ谷	57	F	則内 龍太郎	不明				
51	N	中川 成輔	御逝去	57	F	松崎 諤一	不明				
51	F	増田 陽輔	静浜	58	A	栗林 正樹	久留米				
51	F	養田 智弘	浜松	58	A	南雲 祐樹	久留米				
52	A	藤平 明徳	仙台	58	A	中野 勝喜	久留米				
52	A	松枝 洋志	高遊原	58	A	宇野 裕喜	久留米				
52	A	脇田 祐一朗	小平	58	A	片岡 俊理	久留米				
52	A	高浦 二三康	退職	58	A	宮城 亮宏	退職				
52	A	小林 弘典	北熊本	58	N	樋口 敏彦	退職				
52	A	迫田 泰明	板妻	58	N	仲矢 光希	江田島				
52	A	大畑 成平	米子	58	N	森下 紀洋	江田島				

## 編集後記

59期 部誌担当

合掌

奥平会の皆様、ますますご清栄のことと存じ上げ上げます。58期生が卒業し、61期生はカッター訓練をおえ、62期生16名を迎えた新体制で、気持ち新たに、部員一同日々修練しているしだいであります。

昨年度は残念ながら団体演武成績は2位でした。現在、全日本学生大会最優秀賞を目指して部員一人一人が気持ちを切り替え、目標意識を高く持ち、一日一日の練習に全力で取り組んでおります。

私ども59期も下級生と共に日々自己研鑽に励み、政権を中心として全部員が修練に励んでいきますので、先輩の皆様におかれましても、ますますのご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今回部誌を作成するに当り、ご協力・ご指導をいただきました部長、監督をはじめとする関係者の方々に厚くお礼を申し上げまして、編集後記とさせていただきます。

結手

